

スポーツ科学部カリキュラムツリー

- アドミッションポリシー**
- ① 高等学校までの基礎的な知識や技能を身につけている。
 - ② 論理的思考力を持ち、自分の考えをわかりやすく表現することができる。
 - ③ スポーツ(課外活動等)に興味を持ち、諸活動を通じて、自ら学び試行し行動することができる。

- カリキュラムポリシー**
1. 全学共通に定める「駿大社会人基礎力」を修得するための科目を「共通教養科目群」とし、スポーツ科学の理論的な知識や成果を学習する講義科目及びスポーツの実践力、指導力、企画力等を養う演習・実習科目を「専攻科目群」とし、修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を養う科目を「演習科目群」として教育課程を編成する。
なお、履修方法としては、セメスター制を導入し、学習モデルを提供し、それに相応しい科目の履修を可能とする。
 2. 教育課程を以下の科目に分類し、必要な科目を配置する。

- <共通教養科目群>**
- ① 教養基礎・教養発展科目には基礎的な教養知識・技能を身につけるとともに、現代社会の様々な課題を考察するための科目、地域科目には地域社会を理解し実践的に学ぶための科目を配置
 - ② 外国語科目には、外国語の運用能力と異文化理解を高めるための科目を配置
 - ③ キャリア教育科目には、社会人としての就業意識や職業理解を高めるための科目を配置

- <専攻導入科目>**
- ④ 専攻導入科目には、専攻科目を学ぶ上での入門的な知識・技能を身につけるための科目を配置

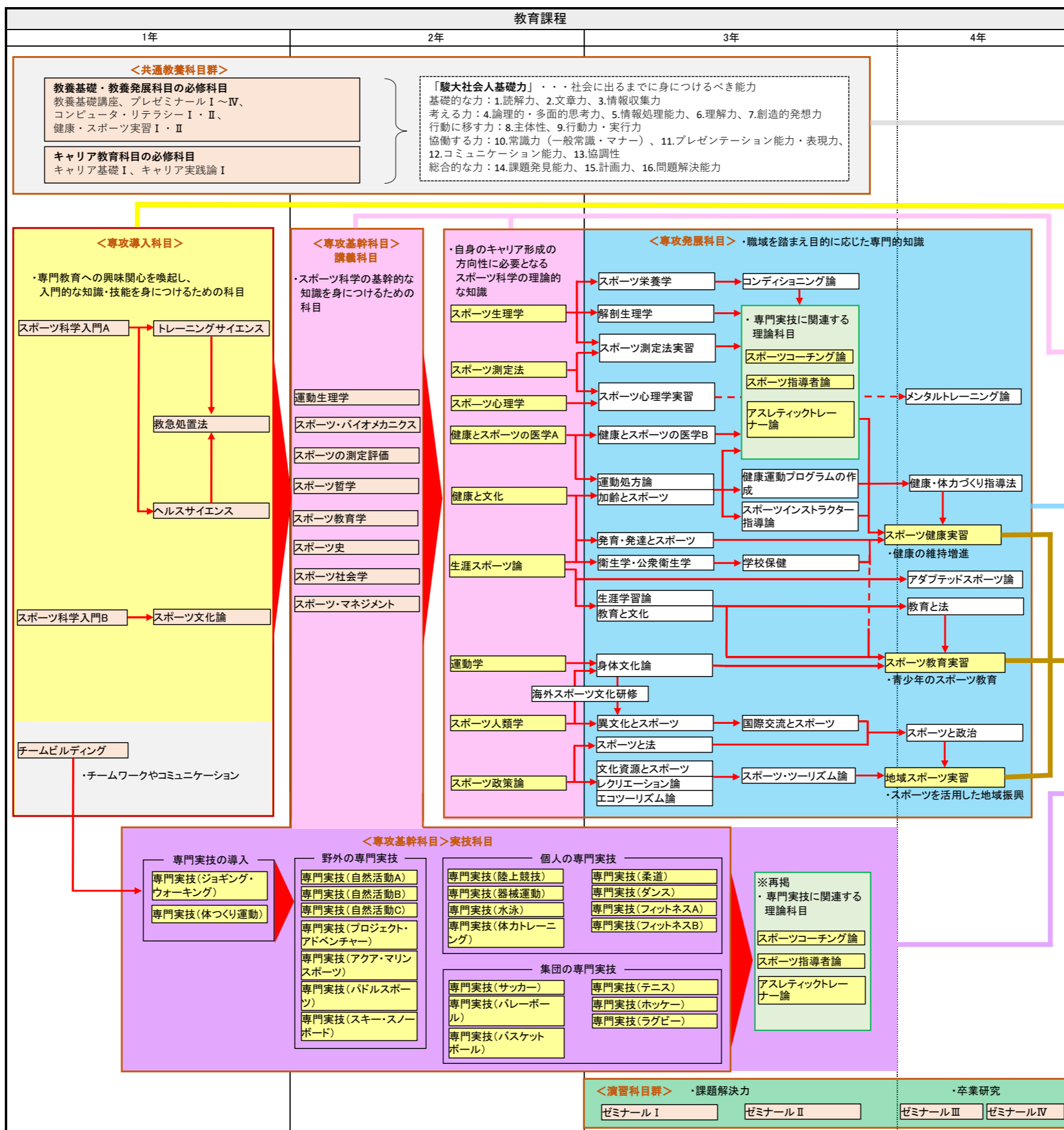
- <専攻基幹科目>**
- ⑤ 専攻基幹科目には、講義科目としてスポーツ科学の基礎的な知識を身につけるための科目及び実技科目としてスポーツの技能を身につけるための科目を配置

- <専攻発展科目>**
- ⑥ 専攻発展科目には、健康の維持増進に寄与するスポーツに関する知識を有するための科目、生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育に関する知識を有するための科目、スポーツを地域振興に活用する知識を有するための科目を配置

- <演習科目群>**
3. 少人数によるゼミ教育は、3年次の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、4年次の「ゼミナールⅢ・Ⅳ」を配置し、一貫性のある総合的な学習を保障する。

4. スポーツ科学の理論的学習を基礎として、スポーツの実際を学校、地域等のスポーツ現場で体験するための科目として、3年次に「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を配置する。

5. 各科目における講義内容・到達目標・学位授与方針との関連・成績評価方法をシラバス等で明示したうえで、公正かつ厳正に評価を行う。



ディプロマポリシー

主体性、積極性、協調性、リーダーシップ等の他者と協働するために必要な適性を有している

スポーツの意義や価値について理解している

スポーツ科学の理論的な知識を理解している

生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育、高齢化時代に対応するスポーツによる健康の維持増進又は地域振興に活用する知識を有している

学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している

スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している

修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している

養成する人材像

スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成する。

想定される進路・就職先

スポーツ科学部の特徴を生かした卒業後の進路先として次のものが挙げられる。

公共スポーツ施設・民間スポーツクラブ・健康増進施設・スポーツ団体などの指導者、中学校・高等学校における指導者(保健体育教員)、スポーツ教育関連企業の社員、地域スポーツ及び健康スポーツの指導者、地域の政策立案者(公務員)、NPO等の職員、JA等の地域拠点企業の職員、スポーツツーリズム等の観光産業の従事者、スポーツ施設の運営・管理者等

